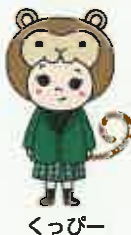




鹿児島県立 屋久島高等学校

創立70周年記念誌

(縮刷版)



YAKUSHIMA HIGH SCHOOL

鹿児島県立 屋久島高等学校
祝 創立70周年記念

活躍 飛躍
輝く屋久高魂!
anniversary since 1948

70

記念行事
平成30年11月17日(土)

- 9:20~ 9:40 献花祭(本校聖堂前)
- 10:00~10:55 記念式典(本校体育館)
- 11:10~12:30 記念講演会(本校体育館)
- 13:00~15:00 記念祝賀会(シーサイドホテル)

記念講演会講師
落語家
月亭 方正

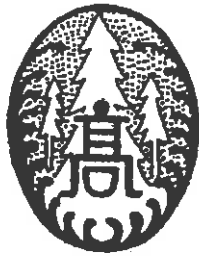
奉迎活動についての詳細はHPで

屋久島高等学校 創立70周年記念事業実行委員会
鹿児島県立
屋久島高等学校



鹿児島県立屋久島高等学校

創立七十周年記念誌



校章の由来

本校校章の制定は、昭和25年2月11日である。

橢円の枠と波形は、洋々と黒潮めぐる屋久島を表し、その中心にそびえ立つ屋久杉の大木がある。それを取りまく二本の若木は、屋久島高校に学ぶ有為の青年に、屋久杉のように、すくすくと、大きく、たくましく育ってほしいという願望を表している。

校訓

敬愛 互譲 協力







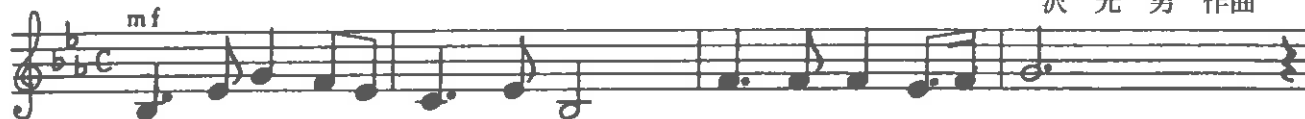
目次

校旗・校訓	1
式典当日校門写真・校訓碑写真	2
校門全景	3
屋久島高等学校校歌	7
記念誌発刊によせて	8
記念誌発刊にあたって	9
記念行事写真集	
亡師亡友慰霊祭	10
記念式典	11
記念講演会	14
記念祝賀会	15
平成三十年度職員	17
記念行事	
式 辞	18
実行委員長あいさつ	19
祝 辞	21
祝 辞	22
祝 辞	23
祝 辞	25
喜びの言葉	26
亡師亡友慰霊祭	27
記念式典	28
記念講演会	29
記念祝賀会	30
事業報告	
当日の進行記録と時間の一覧表	31
記念事業施設整備	34
記念事業会計決算書	35
募金事業所御芳名	36
編集後記	40

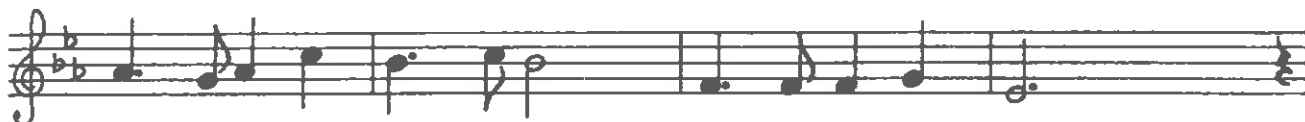
校 歌

神田善一郎 作詞
沢 光 男 作曲

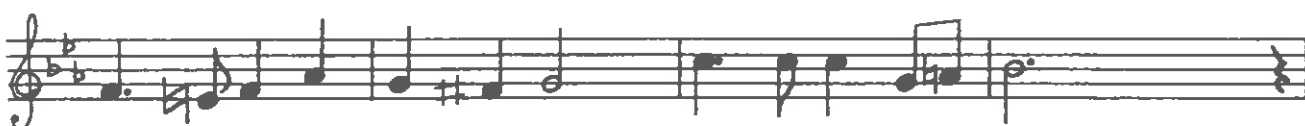
♩ = 90
mf



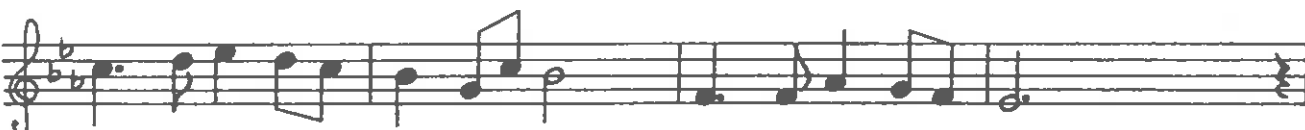
め ぐる く - ろ し お よ う よ う - と



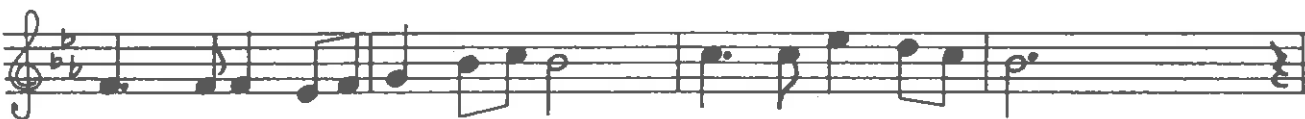
な み ま を の ほ る あ さ ひ こ の



し た た り や ま ぬ ひ か り な - し



わ れ ら が - り そ - う か が や け - ば



し ん り と - せ い - ぎ あ い し つ - っ



ま な - ぶ ほ こ り の ま な び や よ

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 四、自由に翔ける
翼の張りも
心身ともに
われらが生命
日本の行手
学ぶ誉れの
学舎よ | 三、
椚柑の花
この美土に
新しき代を
われらが使命
勤労常に
学ぶ豊かの
学舎よ | 二、
宮之浦岳
ああ九天の
都塵を払う
われらが希望
至誠の道を
学ぶ栄えの
学舎よ | 一、
めぐる黒潮
波間を昇る
滴りやまぬ
われらが理想
真理と正義
学ぶ誇りの
学舎よ |
| 鳴らの
美しく
健やかに
若ければ
語りつつ
学舎よ | 咲き香る
流す汗
先駆ける
重ければ
たたえつつ
学舎よ | 仰ぐとき
星清く
岳おろし
高ければ
進みつつ
学舎よ | 洋々と
朝日子の
光如し
輝けば
愛しつつ
学舎よ |



記念誌発刊によせて

屋久島高等学校 校長 中間 弘

本年度は、昭和二十三年の本校創立から七十周年という記念の年を迎え、本校教育の一層の充実と飛躍を願って、同窓会・PTA・職員が一体となって記念事業・記念行事を企画・実施してまいりました。昨年度から実行委員会を組織し準備を進め、今年度は四月の創立記念日講演会を皮切りに、六月の記念文化祭、九月の記念体育祭等々の記念行事を実施してまいりました。そして、十一月十七日の記念式典・慰霊祭・講演会・祝賀会を厳粛かつ盛大に挙げて、全ての記念行事を滞りなく終えることができました。

生徒も大きな節目の年に巡り会えたことを心から喜び、学校行事や大会等にも、また、日頃の学業や文化・スポーツ活動、ボランティア活動にも全力で取り組んでくれました。特に、これまでも活躍目覚ましかった演劇部が、昨年の九州大会三位に引き続き、本年度は九州大会最優秀賞に輝き、創立七十周年に華を添えてくれるとともに県内外に本校の存在感を示してくれたことは、喜びひとしおの所です。

記念事業・行事が有意義かつ成功裏に実施することができましたこと、また、多くの募金をいただき記念事業の一環として校旗・体育祭優勝旗等を新調していただきましたことは、屋久島町をはじめ地域の皆様や関係各位の絶大なる御支援の賜物と深甚より感謝申し上げます。

これら七十周年記念事業の概要や学校の現状等をまとめた記念誌を刊行することになりました。この記念誌が七十年の歴史と伝統を記録にとどめ、同窓生・旧師・関係諸氏の方々が往時を振り返っていただく史料となり、また、次の八十周年・百周年に向けて本校のさらなる発展に資するものになれば幸いに思います。最後に、貴重な資料や玉稿をお寄せいただいた皆様に感謝申し上げますとともに、七十周年記念の事業推進に献身的に努めていただいた記念事業実行委員会の皆様に敬意を表し、発刊のことばといたします。



記念誌発刊にあたって

創立七十周年記念事業実行委員会 委員長 榎 光徳

平成の時代に別れを告げ、新元号の下、新たな時代への一步が刻まれようとしています。

島内外の卒業生をはじめ、我が母校屋久島高校を愛する多くの方々のご支援・ご協力を賜り、「創立七十周年記念事業」を無事終了することができました。

私は、記念式典で在校生の皆さんへ、

「若者の特権は、時として失敗も許されることである。失敗を恐れては前進はない。何事にも果敢に挑戦してほしい」とエールを送りました。

五十周年・六十周年もそうであったように、今回も又、多くの先輩方や地域の方々の屋久島高校に対する熱い思いを感じることができました。

七十年の長きに渡り、幾多の変遷を繰り返しながら、先人たちの築き上げてきた貴重な歴史と伝統を引き継ぎ、八十年・百年とその意思を守り継いでいくためにも、島内唯一の最高学府である屋久島高校の後輩たちの、さらなる活躍を願ってやみません。

今回、お寄せ頂きました多くの浄財につきましては、後輩たちの教育環境の充実の為、「教育振興基金」として体育館音響・校旗・優勝旗・吹奏楽器の整備や、全国大会等の参加費補填に充てることにしています。

今後とも、変わらぬご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本事業推進の為、様々な立場で支えて頂きました実行委員会の皆様、地域の皆様、そして遠くは出郷者の皆様、他多くの方々へ衷心より厚くお礼を申し上げ、記念誌発刊にあたってのご挨拶にかえさせて頂きます。

ありがとうございました。

記念行事写真集

亡師亡友慰靈祭



記念式典



熊毛支庁長 大田 浩一



実行委員長 榎 光徳



学校長 中間 弘



屋久島町長 荒木 耕治



教育次長 谷口 浩一



県議会議員 日高 滋



生徒会長 日高 旭陽





感謝状贈呈



田嶋 辰夫



兵頭 昌明



木原 滋文（代理）

記念講演会



記念祝賀会



日高 美智男



矢野 和好



北 浩憲



中間 弘



榎 光徳



與崎 泰久



内田 喜一



田嶋 辰夫



兵頭 昌明



鎌田 道隆



日高 悦郎





鹿児島県立屋久島高等学校 平成30年4月

職員

三列目

地歴公民 松井佳世
特別支援 山崎利広
養護 岩元大成
商業 池田中美樹
用務 川邊泰彦
保健体育 谷山宗敬
数学 佐藤真伍
理科 谷口隼大
英語 石踊裕子
実習 野間口紀子
家庭 山元有子
事務 日置淑乃

二列目

理科 児玉活也
商業 前蘭祐輔
保健体育 黒木佳代
国語 大迫公見子
商業 西倉陽美
理科 知正和
英語 出口賢一
国語 村田千佳
書道 竹下知恵
数学 上ノ町友紀
地歴公民 嶽釜将
事務 益山由紀子
図書 青山明日香
用務 市橋ちず子

一列目

国語 上田美和
音楽 橋口順一
商業 俣川祐輝
英語 高山寛之
事務長 有村浩二
校長 中間弘
教頭 堂蘭幸夫
地歴公民 飯島智一
理科 竹ノ内克巳
保健体育 坂元洋平
数学 長倉徹

記念行事

式辞

屋久島高等学校 校長 中間 弘

晩秋の空清く澄み渡り、菊花薫る今日の佳き日に、県当局をはじめ、多数のご来賓並びに同窓会、PTA、地域の皆様のご臨席を賜り、ここに鹿児島県立屋久島高等学校創立七十周年記念式典を盛大に挙行できますことは、学校を挙げての喜びであり、教職員・生徒一同心から感謝し、厚く御礼申し上げます。

本日この式典に先立ち、亡師亡友の慰霊祭を執り行い、今は亡き恩師・学友のご冥福をお祈りし、七十年の歴史を思い、感謝の誠を捧げました。

本校は、昭和二十三年四月、屋久島の隆興を支える青年教育の充実を掲げ、種子島高等学校屋久島分校として設立され、栄えある歴史の第一歩を踏み出しました。昭和二十四年四月には、村立上屋久高等学校として独立。その二年後の昭和二十六年四月には、鹿児島県への移管が成って鹿児島県立屋久島高等学校と校名が改称され、現在に至ります。

七十年の歴史の中で、それぞれの時代の要請や地域の要望に伴って、学科の改廃、分教場の開閉校などあまたの変遷があり、時代時代の流れの中でその役割を果たしてきました。この間、今日まで輩出した卒業生は八千百有余名を数え、県内はもとより全国各地の様々な分野で活躍しておられることは周知のとおりです。

七十周年を契機として、先輩諸氏の懸命なる努力と精進に、深く敬意と感謝を表すとともに、その歴史と伝統を継承しつつ、新しい命を吹き込み、明日の屋久島高校を創造することが、私たちに課せられた使命であると、改めて自覚しております。

生徒の皆さん。皆さんは学校創立七十周年という記念の年に、縁あつて巡り会いました。この巡り会いを誇りとし、校歌にもあるように、「理想を輝かせ」「真理と正義を愛し」「望みを高くし」「至誠の道を進む」人材になれるよう、自分の果たすべき使命や役割を充分に自覚し、本校の新しい歴史を創造すべく、決意を新たにしなければなりません。日本は今、大きな歴史の転換期を迎えています。新しい時代を創造するために、若い力とその可能性には大きな期待がかけられています。幾千年の間、育まれたこの屋久島の自然が雄大さと美しさを今も誇り続けているように、皆さん一人ひとりも自分の未来に向かい、燃える青春を突き抜け、輝きを放っていただく。私たち教職員も、次の時代の担い手である皆さんと共に成長し続ける重責を感じながら、「魅力ある地域に開かれた学校づくり」に取り組んで参ります。

この十年間で、少子高齢化の流れはさらに加速し、現在の全校生徒数は二百四十人。十年前の二百九十人から大きく減少している状況です。次の十年へどうつなげていくのかが、喫緊の課題であることは言うまでもありません。しかし、未来へと向けられた生徒たちの澆漓とした眼差しは創立当時より変わることなく、更に力強さを

増しています。これからも豊かな心を育み、力強く邁進する若者たちの学びの場として、新しい伝統を継いでいける学校であることを自負し、今できることをひとつひとつ確実に実施していくとともに、屋久島町の多大な支援に感謝しながら、「地域と共に歩み、地域を愛する学校」を目指して参ります。

最後になりましたが、本日の記念式典に御臨席いただきました皆様、並びに七十周年記念事業にあたり絶大な御支援を賜りました実行委員会、同窓会、PTA、そして地域の皆様方に心から感謝申し上げますとともに、今後とも本校教育の発展のために、これまでも変わらぬ、御指導・御支援を賜りますようお願い申し上げます、式辞といたします。

実行委員長あいさつ

創立七十周年記念事業実行委員会 委員長 榎 光徳

野山に、つわぶきや芙蓉の花が咲きみだれ、秋の深まりも感じる季節となつて参りました。

本日ここに、鹿児島県立屋久島高等学校創立七十周年記念式典を開催するにあたり、鹿児島県ご当局、屋久島町をはじめ多くのご来賓の方々、PTA、同窓会の方々、そして日頃より屋久島高校を温かく見守り、支えて下さる地域の方々のご臨席を賜り、盛大に挙行できますことに心より感謝申し上げます。

先程は、亡師亡友慰霊祭を執り行い、本校にゆかりのある今は亡き恩師、学友の御霊に感謝の誠を捧げたところであります。

屋久島が、日本で初めて世界自然遺産として登録されたことは、皆様周知のとおりであります。

早、二十五年が経過をしようとしています、世界に誇れるこの素晴らしい自然環境の下で、我が母校屋久島高校に熱い思いをはせ、離島教育の振興と郷土屋久島の発展の為、身を粉にして幾多の変遷を繰り返しながら、創立以来七十年という長い歴史を積み重ねてこられた先輩たちの、献身的なご努力に深く敬意を表する次第であります。

皆さん、ステージ右上をご覧ください。本校の校訓であります、「敬愛・互譲・協力」は、初代校長・故深田直彦先生のご提案であつた

と聞いております。

この校訓こそが、当時の先人たちの思いとして、人を愛し、お互いが譲り合いの精神で、協力しながら築き上げてきた校風そのものであり、今日の屋久島高校の礎となったに違いありません。

こうした先輩たちの意志を引き継ぎ、島内唯一の最高学府としての責務を果たすべく、地域に根ざした、地域から信頼される学校づくりの為、私たち同窓会が、努力を惜しんではならないことを再認識致したところであります。

将来の屋久島はおろか、日本を世界をリードしていくであろう後輩たちの為にも、今、同窓会として何ができるか、何をしてやれるかを、学校・PTA・地域の方々と一帯となつて、模索していかなければなりません。

本日は、ここに、OBである兵頭さんにもご出席を頂きました。

兵頭昌明氏は、低迷する同窓会を立て直し、五十周年、六十周年の記念事業の成功と、教育振興基金の創設にご尽力され、今日の同窓会活動に活路を見出して頂きました。

今回の七十周年記念事業を計画するに当たり、私共は学校、PTA、同窓会から成る実行委員会を組織し、その成功に向けた取り組みを展開して参りました。

昨年度の準備委員会立ち上げを皮切りに、実行委員会へと移行し、実に十数回の会議を重ね、昼夜を問わず奔走して参りました。

本日の、この日を無事迎えることができましたことは、実行委員

の皆様の献身的なご努力の賜物であり、この場をお借りし御礼申し上げます。

又、今回の記念事業を成功させる為、屋久島町をはじめ、島内の各事業所や企業の方々、島内・外の卒業生の方々、PTA、教職員の方々、そして多くの地域の方々に浄財をお寄せ頂き、ご支援頂きました。このことに対しましても、心より感謝申し上げます、重ねて御礼を申し上げます。

創立七十周年という節目の年に巡り合った在校生の皆さん、皆さんは今、「活躍・飛躍・輝く屋久高魂」の生徒会スローガンの下、文武両道を目指し、日々頑張っておられる事でしょう。

若者には特権が与えられます。将来の夢と目標は大きく掲げてください。そして、自分の掲げた目標をしっかりと見据え、何事にも果敢に挑戦していただく。失敗もあるかもしれませんが。若者の特権は、時として失敗も許される事です。失敗を恐れては前進はありません。

今日のこの日を契機に、さらに精進を重ね、大きく羽ばたいていくてほしいと願っています。

結びになりますが、本日のこの記念式典をはじめ、創立七十周年記念事業にご賛同頂き、数々のご支援を頂きました関係各位の皆様方、そして会場にお越しのすべての皆様方へ、心より感謝と敬意を表し御礼を申し上げます。

我が母校、屋久島高校の揺るぎない発展を願いながら、実行委員

長としてのご挨拶にかえさせて頂きます。

祝辞

鹿児島県知事 三反園 訓

鹿児島県立屋久島高等学校が、めでたく創立七十周年を迎えられ、本日、記念式典が盛大に挙行されますことを、お喜び申し上げます。

屋久島高等学校は、種子島高等学校分校として昭和二十三年に創立されて以来、幾多の変遷を経ながら七十年にわたる輝かしい歴史と伝統を築いてこられました。これもひとえに歴代の校長先生をはじめ諸先生方の並々ならぬ熱意と、生徒の皆さんのたゆみない努力、そしてPTA、同窓会、地域の皆様の温かい御支援の賜物であると深く敬意を表し、心から感謝を申し上げます。

さて、我が国は現在、経済のグローバル化の進展や急速な技術革新の進展など、社会のあらゆる面で大きな変革期を迎えています。こうした変革の影響は鹿児島県にも及んでいるところであり、まさに、鹿児島県の将来にとって重要な時期となっております。

こうした中、鹿児島県は、豊かな自然、歴史や文化に彩られた観光資源、日本一に輝く数々の農畜水産物など、一流の魅力ある素材を有しております。私は、この素晴らしいポテンシャル豊かな鹿児島を、全国へ世界へと発信し、全ての県民の皆様が、「鹿児島に生まれてよかった。鹿児島に住んでよかった。」と実感できる鹿児島県をつくるため、全力で取り組んでいるところです。

また、今年は明治維新百五十周年の記念すべき年です。ぜひ、こ

の節目の年に、幕末という大きな変革期の時代に生き、近代国家をつくるために中心となって活躍した郷土の先人たちの志や行動力を多くの皆さんに学んでほしいと思っております。

さらに、県下の高校生が、毎年、ボランティア活動や伝統行事に積極的に参加し、地域の活性化に貢献する姿や、スポーツや文化の分野において国内外で活躍する姿は、県民に大きな喜びと活力を与えてくれます。これからも、夢と希望を待って真摯な態度で学業に励み、前例にとらわれない柔軟な発想を生かして何事にも勇敢に挑戦し、力強い鹿児島づくりに貢献することを期待します。

生徒の皆さんは、この記念すべき日に、今一度、屋久島高等学校が歩んできた七十年という歴史の重みをかみしめ、皆さん一人一人が、校訓である「敬愛」、「互譲」、「協力」を胸に、理想を追求すること、屋久島高等学校の歴史に新しい足跡を残し、本校の益々の発展に貢献されることを願っております。

終わりに、この栄えある創立七十周年を契機として、屋久島高等学校が新たな歴史と伝統を築かれますことと、在校生の皆さんの洋々たる前途を祝福し、お祝いの言葉といたします。

祝辞

鹿児島県議会議長 柴立 鉄彦

本日、「鹿児島県立屋久島高等学校創立七十周年記念式典」が、関係者の皆様多数御列席のもと、盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

屋久島高等学校は、昭和二十三年に種子島高等学校・屋久島分校として開校して以来、七十年の激動する社会の変遷を経ながら、輝かしい歴史と伝統を築いてこられました。

その間、実に八千名を超える有為の人材を輩出され、県内外において様々な分野で目覚ましい御活躍をされておられます。

これもひとえに、歴代の校長先生をはじめ、教職員や地域の皆様方、そして先輩諸氏の長きにわたる御尽力の賜であり、心から敬意を表する次第であります。

さて、現在、我が国はグローバル化の急速な進展、そして本格的な人口減少や少子高齢化の進行など大きな変革期にありますが、本県そして屋久島の待つ特性や可能性を最大限に生かしながら、県民一人一人が生涯安心して働き、生活を送ることができる地域社会を構築していく必要があります。

こうした中、生徒の皆さんは、「敬愛」、「互譲」、「協力」の校訓のもと、学業をはじめ、専門の知識・技術の習得、スポーツや文化活動に励まれているところでありますが、卒業後も先輩方がこれま

で築き上げてこられた伝統を受け継ぎ、夢の実現に向けてチャレンジし、輝かしい郷土の未来を創造されることをお願いいたします。

終わりに、創立七十周年を契機として、生徒の皆さんが今後一層飛躍されますことを御期待申し上げますとともに、屋久島高等学校のますますの御発展と、本日御列席の皆様方の御健勝・御活躍を心から祈念申し上げます、県議会を代表しましての祝辞といたします。

祝辞

鹿児島県教育委員会

鹿児島県立屋久島高等学校の創立七十周年を心からお喜びし、お祝いを申し上げます。本校は、昭和二十三年の創立以来今日まで、幾多の変遷を経ながら、輝かしい歴史と伝統を築いてきました。この間、実に八千人を超える人材を社会に送り出し、それぞれ、地域や県内、あるいは国の内外において活躍しておられますことは、誠に喜ばしい限りであります。本校のこれまでの発展に御尽力いただきました歴代校長先生をはじめ、諸先生方、PTA、同窓会の皆様の御労苦に対して、深く敬意と謝意を表します。

現在、本校では、県内唯一の環境コースを設置した特色ある学校として、新しい時代の要請に対応した教育活動が積極的に推進されています。

卒業生の方々は、国公立大学など上級学校への進学や就職とそれぞれの道で鋭意努力され、数多くの卒業生の方々が有為な人材として、島内外で活躍されていると聞いています。

また、部活動においても様々な活躍があり、中でも昨年度演劇部の九州大会での上位入賞が、大きな話題になったことは記憶に新しいところです。さらに、情報ビジネス科の皆さんの、クルーズ船観光客への郷土屋久島をPRするおもてなし活動や、ボランティアクラブ「ぼんだま」の活動も、若者による島の活性化の一翼を担って

います。

さて、知識基盤社会といわれる現代では、社会におけるあらゆる活動の基盤となる知識・情報・技術が加速度的に変化するとともに、グローバル化の進展等によって、一つの出来事が広範囲かつ複雑に伝搬し、社会の変化を正確に予測することが、ますます困難となっています。

また、約十年後には、第四次産業革命ともいわれるAI等を活用した急速な技術革新による新たな社会、いわゆる超スマート社会が到来すると予想されています。近い将来多くの職種がコンピュータに代替されるのではないかといわれる中、この激動の時代を豊かに生き、未来を切り拓いていくためには、人間ならではの感性や創造性を発揮しながら、新たな価値を見出す力が求められています。

こうした力を育む学習の場である学校において、生徒の皆さんには、今後とも目的を持って主体的に学業に励み、心身を鍛えるところに、自分の待てる力を社会のために役立てようと考え続ける人であってほしいと思います。

本校の校歌には、「真理と正義愛しつつ 学ぶ誇りの 学舎よ」と謳われています。

明治維新百五十周年というこの記念すべき年に、七十周年を迎える本校に学ぶ皆さんが、志を高く掲げて学習や部活動に邁進し、心豊かで「生きる力」にあふれた人間に成長されることを願っております。

県教育委員会は「あしたをひらく心豊かでたくましい人づくり」を基本目標に掲げ、今後ともそれぞれの学校が、地域に開かれた特色のある学校となるよう様々な支援をしてまいります。生徒の皆さんが自信を持って自らの人生を切り拓き、よりよい社会を創り出していけるよう、PTAや同窓会、地域の皆様にも、より一層の温かい御支援をお願いいたします。

最後に、本校の七十周年記念式典に際し、御尽力いただきました関係の皆様方に深く感謝申し上げますとともに、屋久島高等学校の益々の御発展をお祈り申し上げます、お祝いの言葉といたします。

祝辞

屋久島町長 荒木 耕治

本日ここに、鹿児島県立屋久島高等学校創立七十年記念式典が、厳粛かつ盛大に挙行されるにあたり、屋久島町を代表いたしまして一言お祝いを申し上げます。

戦後間もない昭和二十三年、厳しい時代背景の中、向学精神に溢れた先達のご尽力により、種子島高校屋久島分校として創立されて以来、島唯一の全日制高校として、創立七十周年を迎えることができました。戦後の混乱期に力強い第一歩を踏みだし、時代の変遷とともに、営々として島の高等教育を担い、多くの人材を育み、地域の発展に多大な貢献を果たしてこられたことに對し、改めて深い感謝と敬意を表する次第であります。

戦後のベビーブームにより、教室が足りないほど生徒で溢れていた頃、屋久島高校の体育祭や文化祭は、娯楽に乏しいこの島の一大イベントとして大変な盛り上がりを呈し、多くの話題を提供してくれましたが、時代とともに生活スタイルの多様化や少子化が進み、生徒数の減少に伴って募集定員の削減や学級数の減少などを余儀なくされました。県内においても、県立高校の統廃合による再編がなされ、教育行政の大きな転換期を経て現在に至っております。

本校においては、今後も変わらず島の最高学府として重大な役割を果たされますとともに、私たちは、高校設立当時に奔走された先

輩方の思いを今一度再認識しながら、支援する立場として屋久島高校を守っていかねばならないと思っております。

近年、学校を取り巻く環境が激変し、生徒数が減少していく傾向である一方、わが屋久高は、先生方の目が生徒に行き渡り、きめの細かいご指導によって、進学や就職、クラブ活動等にめざましい実績を残しております。地域に大きな話題を提供し「屋久高ここにあり！」と、その存在感は時代の昨今を問わず変わりはありません。

こうした良き伝統が醸成されるには、先輩諸氏が苦勞を重ねて耕した畑があり、紆余曲折を経ながら築き上げた七十年の重みがあるからこそ、今があるのだということもまた、在校生にしっかりと伝えていかねばならないと思います。

屋久島高校は、世界自然遺産の島にある高校として、これからも校訓である「敬愛」、「互譲」、「協力」の精神を堅持し、人と人、人と自然との調和を未来永劫保持していくため、地域の核となつていかなければなりません。本日の七十周年記念式典を機に、私たち同窓生、学校関係者、地域も決意を新たに、本校の更なる前進のため、それぞれの役割の中で頑張っていきたいと思えます。是非、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

最後に、本日の記念事業の企画から式典・関連事業の実施まで関わっていただきました実行委員会並びに校長先生はじめ学校の関係者の皆様に心より感謝申し上げますとともに、屋久島高等学校の輝かしいご発展をご祈念申し上げます、お祝いのことばといたします。

喜びの言葉

生徒代表 日高 旭陽

日ごとに秋が深まり、屋久島の木々も色づく季節となりました。今年、鹿児島県立屋久島高等学校は創立七十周年を迎えました。本日ここに、記念式典がこのように盛大に挙行され、多数のご来賓の方々、先輩の皆様方とともに、在校生として出席できますことに、生徒一同大きな喜びを感じております。私たちが仲間とともに安心して勉学や部活動に打ち込み、切磋琢磨できるのも、これまで屋久島高校を支えてくださった同窓会を始め、見守ってくださる地域、保護者の皆さま、ご指導くださる先生方のおかげです。改めて多くの方々との繋がりを思い、深く感謝申し上げます。

私たちは、環境コースや情報ビジネス科のおもてなし活動、屋久島町ボランティアクラブ「ぼんだま」の活動などによって、屋久島と共に歩みながら、高校生活を送っています。私たちの地域貢献を目指した活動は、多くの方々に支えられながら、励ましをいただくとともに、注目されることも多く、身の引き締まる思いを感じています。

ここ数年学業面では、日々の授業や課外、補習によって、厳しい就職・進学状況に打ち勝って、進路目標を達成することができています。また部活動においても、最近では演劇部の二年連続九州大会出場、サッカー部の二十年振りの選手権鹿児島県大会ベスト十六な

ど、躍進を続けております。今年度七十周年記念として開催された体育祭では、三年生を中心としたマスゲームが行われ、生徒・職員が一つになって人文字を作り上げました。私たちが屋久島高校で過ごす日々は、長い歳月の中では一瞬にしか過ぎないかも知れませんが、しかし、その中で確実に歩み続け、このように新しい歴史を作り上げています。「新しき代を先駆けるわれらが使命重ければ」と校歌にもありますように、これからの屋久島の未来を担う人材となれるよう、私たちは、これからも最大限の努力の下に、歩み続けていかねければなりません。

日本は激動の平成の時代を終え、新たな時代を迎えます。七十周年を迎え、日本とともに次の一步を踏み出す屋久島高校の未来を切り拓くのは、ここにいる私たちです。先輩方が築いてこられた輝く伝統を受け継ぎ、明るい未来を作り上げていく私たちが大切にしなければならぬことは、一人一人が屋久島高校の生徒であるということに誇りを持ち、目標意識を持ってかけがえのない日々を大切に過ごすことです。「敬愛」、「互譲」、「協力」という校訓には、「人を敬い、人に譲り、人とともにあれ」という創立期からの念願が込められています。その校訓のもと、私たちは自然と人間の共生する悠久の島に生まれ育ったことを誇りとして、黒潮めぐる屋久島において、屋久杉のごとく、大きく、たくましく成長していくことをお誓い申し上げ、本日の喜びの言葉といたします。

亡師亡友慰霊祭

昭和四十一年卒業 小瀬田 岩川 豊美

亡師亡友慰霊祭（9:20～9:40）

- 1 一同礼
- 2 はじめのことば
- 3 黙祷
- 4 慰霊のことば
- 5 献花
- 6 おわりのことば
- 7 一同礼

おはよう御座います。

本日はお忙しい中、亡き恩師、亡き先輩、亡き同僚の慰霊祭に、各もにぎにぎしくご来場賜り、厚く御礼申し上げます。

本日、我が母校の屋久島高等学校も、七十周年を迎えることになりました。これもひとえに恩師の教え、先輩の協力のたまものと、深く感謝申し上げたいところです。

我が母校屋久島高等学校も、今や文武両道に優れ、他の高校に勝るとも劣らない素晴らしい学校に成長しました。

これから八十年、九十年、百年と歴史を刻んで行きますが、今以上に発展しますように同窓会、屋久島町民の御協力をお願いします。

最後に、屋久島高等学校の益々の発展と、本日御列席の皆さまの御健勝、御多幸を祈念申し上げ、慰霊祭の言葉とします。

記念式典式次第

記念式典 (10:00～10:55)

(体育館)

- 1 一同礼
- 2 開式のことば
- 3 国歌斉唱
- 4 校長式辞
- 5 創立七十周年記念事業実行委員長挨拶
- 6 祝辞
 - ・ 鹿児島県知事
 - ・ 鹿児島県議会議長
 - ・ 県教育委員会教育長
 - ・ 屋久島町長
- 7 生徒代表喜びのことば
- 8 祝電祝詞披露
- 9 感謝状贈呈
- 10 校歌斉唱
- 11 閉式のことば
- 12 一同礼



記念講演会

記念講演会 (11:10 ~ 12:30)

(体育館)

- 1 開会
- 2 講師入場
- 3 講師紹介
- 4 記念講演
演題 「僕が落語家になった理由」
講師 月亭方正
- 5 落語
- 6 屋久島高校大喜利
- 7 生徒代表お礼のことば
- 8 講師退場 閉会

御礼の言葉

一年二組 武石 鈴香

本日は、屋久島高校創立七十周年記念のために、講演会を開いていただきました。本当にありがとうございました。いつもテレビやラジオでご活躍され、楽しい笑いを観る人に届けていらっしゃる月亭方正様の、落語家としてのまた違った一面を見せていただくことができました。落語家になれるまでのさまざまな出来事や心の葛藤もお話しいたいただき、ぐっと方正様を身近に感じることができました。

方正様のお話の中で、人にはそれぞれ転機があること、勇気を出して進むことで新しい世界が開けることを学びました。また、これまで本場の落語を見ることがなかったので、方正様の落語を聞かせていただき、貴重な体験をすることができました。

また、一緒に来て下さった若手の落語家の皆さまの前座の落語と大喜利も大変面白かったです。話術というものが、こんなに人を楽しませ、明るい気持ちにさせてくれるものだと知りました。

番組出演や高座等、ご多用中にもかかわらず、遠路お越しいただき、御講演をしてくださいました。これからテレビで方正様を拝見する度に、この屋久島高校にわざわざ来てお話し下さったことを思い出すと思います。これからのご活躍を、この遠い屋久島からお祈りしています。本当に有難うございました。

記念祝賀会

記念祝賀会 (13:30～15:30)

(シーサイドホテル)

- 1 開会のことば
- 2 お祝いの催し物
・郷土芸能(トビウオ招き)
- 3 実行委員長挨拶
- 4 校長挨拶
- 5 お祝いのことば
- 6 開宴 乾杯
・宮之浦おたおどり
・空手型披露
- 7 校歌斉唱
- 8 万歳三唱
- 9 閉会のことば



事業報告

鹿児島県立屋久島高等学校創立 70 周年記念

亡師亡友慰霊祭・記念式典・記念講演会・祝賀会

当日の進行記録と時間の一覧表

【1】 亡師亡友慰霊祭

- 一 一同礼
- 二 はじめのことば
- 三 黙祷
- 四 慰霊のことば
- 五 献花
- 六 おわりのことば
- 七 一同礼

6:00 管理職点検開始

8:20 職員朝礼

8:30 生徒準備開始

(9:20~9:40)

進行：生徒会2-3 山下万希

9:20~ 数名集まっていなかったが開始

9:21

9:22

9:23

9:25 全部で14人

9:30

9:31

9:35 校長着替え、胸章の付け替え

【2】 記念式典

- 一 一同礼
- 二 開式のことば
- 三 国歌斉唱
- 四 校長式辞
- 五 創立七十周年記念事業実行委員長挨拶
- 六 祝辞
 - ・鹿児島県知事
 - ・鹿児島県議会議長
 - ・県教育委員会教育長
 - ・屋久島町長
- 七 生徒代表喜びのことば
- 八 祝電祝詞披露
- 九 感謝状贈呈
- 十 校歌斉唱
- 十一 閉式のことば
- 十二 一同礼

(10:00~10:55)

進行：儀式集会係(坂元)

9:54 校長室来賓出発 9:56 着

9:55 事前の注意、アナウンス

10:00

10:00

10:01

10:02

10:10

10:19

10:24

10:28

10:35

10:42 拍手あり

10:47 読み上げカット

10:49

10:55

11:00

11:00

休憩時間は 10 分間のまま

【3】 記念講演会

(11:10~12:35)

進行：【竹ノ内】

- 一 開会のことば
- 二 講師紹介
- 三 記念講演
演題 「僕が落語家になった理由」
- 四 前座（落語）
- 五 月亭方正（落語）
- 六 大喜利
- 七 生徒代表お礼のことば
- 八 閉会のことば

11:07 注意アナウンス

11:10 開会から続けて

講師紹介

11:11

11:43

11:55

12:13 坂元先生も登場

12:37 お礼のことばと焼酎

12:42 中央を降りる予定

だったが、袖から退出

来賓をバス案内、校長室には行かず

12:50 校長室で壺家接待

お茶と写真撮影

13:05 壺家は控室へ移動 着替え

13:10 教頭妻の車で校長、教頭移動

13:15 ホテル着

【4】 記念祝賀会

(13:30~15:30)

進行：同窓会【日高 美智男 様】

- 一 開会のことば
- 二 お祝いの催し物
郷土芸能（とびうお招き）
- 三 実行委員長挨拶
- 四 校長挨拶
- 五 お祝いのことば
- 六 開宴 乾杯
剣道 型披露
宮之浦おた踊り
空手 型披露
歓談スピーチ
- 七 校歌斉唱
- 八 万歳三唱
- 九 閉会のことば

13:30

13:33

13:39

13:45

13:49

13:54 13:58 祝宴開始

14:07

14:14

14:33

14:50 6人が壇上 ~15:38

15:39

15:44

15:47

種子島の先生方は 15:00 退出 16:00 ホテル発

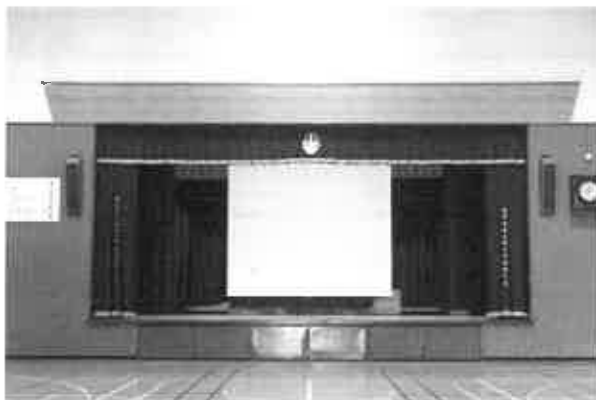
創立70周年記念事業 実行委員会等の実施記録

屋久島高校 教頭 堂園幸夫
H31.2.2

年	年度	月	日	曜	時	内容	人数	備考
平成29年 (2017)	平成29年度	4月						
		5月						
		6月	9日	金	9時～ 17時～18時	文化祭 70周年に向けた打合せ会議(文化祭後)1回目	13人	校長室
		7月	19日	水	17:30～	70周年に向けた打合せ準備会議2回目 H30.11/17の決定	13人	校長室
		8月						
		9月	10日	日	9時～	体育大会		
			27日	水	18時～	PTA役員会		校長室
		10月	21日	土	19時～ 26日 木 17:30～	同窓会総会 70周年に向けた打合せ準備会議3回目	50人程度 16人	安房 校長室
		11月	30日	木	17:30～19:00	70周年に向けた打合せ準備会議4回目	16人	会議室
		12月	1日	金		Facebook公式ページ公開		インターネット
			11日	月	18:00～	職員会議、日程等の原案		会議室
			25日	月	9:00～	ポスター完成、掲示依頼 12月中に募金口座開設		島内各所
平成30年 (2018)	平成30年度	1月						
		2月	1日	木	18:00～	第1回実行委員会	27人	会議室
			7日	水	18:00～	運営委員会、障月会議		会議室
		3月	20日	火	18:00～	第2回実行委員会	24人	会議室
		4月	9日	月	10:00～	第72回入学式		体育館
			13日	金	13:30～	創立記念日講演会		
		5月	16日	水	18:00～21:00	第3回実行委員会	50人程度	図書館
		6月	8日	金		趣意書発送 第71回創立記念文化祭		
		7月	1日	月		関東同窓会		
			4日	水	18:00～20:30	第4回実行委員会	50人程度	図書館
			18日	水	19:00～	同窓会の募金部会		
			19日	木	18:30～	募金部会(総務部も出席)		
		8月	29日	水	18:00～20:30	宮之浦旧橋に横断幕掲示	40人程度	図書館
		9月	9日	日	9:00～	第71回創立記念体育祭		
			28日	金	18:00～20:20	第6回実行委員会	50人程度	図書館
		10月	23日	火	18:00～21:00	第7回実行委員会	60人程度	図書館
		11月	7日	水	18:00～20:00	第8回直前実行委員会	50人程度	図書館
			17日	土	9:20～	創立70周年記念 慰霊祭	40人程度	慰霊碑前
					10:00～	創立70周年記念 式典	500人程度	体育館
					11:10～	創立70周年記念 講演会 月享方正	500人程度	体育館
					13:30～15:50	創立70周年記念 祝賀会	90人程度	シーサイドホテル
		12月						
		1月						
		2月						
			27日	水	18:00～	第9回総括実行委員会	40人程度?	図書館
		3月						
平成31年 (2019)								

記念事業（環境整備・施設設備）

1 体育館舞台のスクリーン新調，プロジェクター新規購入



2 体育館放送のアンプ新規購入



3 楽器ティンパニーの新規購入



4 体育祭優勝旗の新調



創立70周年記念行事・事業会計 決算書(H31.3.15現在)

屋久島高校創立70周年記念事業実行委員会

収入の部

(単位:円)

費 目	予 算 額	収 入 済 額	備 考
同 窓 会 寄 附 金	7,500,000	4,990,000	801件
P T A 寄 附 金	300,000	47,500	17件
一 般 寄 附 金	2,700,000	2,546,669	屋久島町700,000 一般・事業所229件1,846,669
現 旧 職 員 協 力 金	550,000	323,490	旧職員26件170,490 現職員37件153,000
祝 賀 会 協 賛 会 費	250,000	327,000	一般11 同窓会15 PTA7 職員31
講 演 会 補 助	900,000	900,000	教育振興費(芸術鑑賞積立)から
雑 収 入	1,000	11	預金利子
計	12,201,000	9,134,670	

支出の部

(単位:円)

費 目	予 算 額	支 出 済 額	備 考
1 総務費	1,640,000	1,482,834	
(1)会議費	400,000	368,013	実行委員会旅費
(2)事務費	30,000	0	
(3)通信費	610,000	601,599	趣意書・案内状・礼状発送用
(4)印刷費	400,000	343,408	ポスター・封筒・趣意書・領収書・案内状・パンフレット印刷
(5)消耗品費	200,000	169,814	ラベルシール, 横断幕, 看板, プリントナー
2 行事費	2,210,000	2,194,086	
(1)式典費	100,000	99,548	式典生花, 手提げ袋, 胸章, 式典花鉢, 白布クリーニング
(2)祭典費	30,000	26,580	慰霊祭リース, 献花, アレンジ花, 喪章
(3)講演費	1,520,000	1,518,504	講演料, お礼色紙, タクシー代
(4)表彰費	50,000	44,454	記念品, 手提げ袋, 額縁
(5)記念行事費	0	0	
(6)祝賀会費	510,000	505,000	祝賀会飲食代, アトラクションお礼
3 事業費	6,380,000	5,207,750	
(1)記念誌費	510,000	510,000	記念誌発行に替わる記録誌, 掲載に伴う記事使用料
(2)同窓会名簿費	0	0	
(3)校訓建立費	0	0	
(4)教育振興費	1,970,000	1,248,914	教育振興基金補充
(5)記念品費	700,000	313,200	記念品タオル
(6)環境整備費	0	0	
(7)施設設備費	3,200,000	3,135,636	体育館アンプ, 体育館スクリーン・プロジェクター, 体育祭優勝旗, 学校旗, ティンパニ, 教室用スクリーン・プロジェクター
4 雑費	1,700,000	250,000	
(1)同窓会基金	1,500,000	250,000	同窓会会計へ
(2)雑費	200,000	0	
5 予備費	271,000	0	
計	14,201,000	9,134,670	

収入計9,134,670 - 支出計9,134,670 = 残額0

準備金2,000,000円除く

70周年事業募金一覧(各事業所・企業名)

整理番号		事業所	氏名
75	ア	アース山口	
88		明源しの	
16		味菜	
137		荒木歯科医院	
76		荒木商店	
22		荒田商店	
181		(有)有水製作所	
239		安藤精肉店	
205		居酒屋たぬき	
郵貯		漁火	牧
99		莓一笑	
144		一越クリーニング	
260		樹苑館	大牟田 幸久
44		(株)イナモリ	
85		岩川内装店	
29		潮つり具	
郵貯		内田石油	代表取締役 内田 正喜
93		(株)エイ・エヌ・ディー	
212		Aコープ	
334		エーエフマネージメント(株)	計屋 圭宏
132		(株)エコアシシステム	
37		エバーブルー屋久島	
郵貯		エムマートひご	
98		(有)大園建設	
83		オレンジオート	
8	カ	海舟	
59		楓庵	
168		鹿児島銀行屋久島支店	
198		鹿児島ホルモン	
187		鹿島工芸	
19		日正建設	
220		門野医院	
226		かねなか商店	
143		川田商会	
180		川東工芸	
215		菅公学生服(株)	
32		(有)神田土木	
51		関東同窓会	
197		キャンパス上浦	
114		(有)急便屋久島	
24		Queen	
86		熊毛グループ	
23		クラウン衣料	
39		クリーンショップ屋久島	
139		グリーンワーカー真辺	
48		栗生 屋久島ふれあい食品	
100		クルマクワハラ	
102		ケーエムオート	
郵貯		(有)啓南建設	
郵貯		(有)下屋久新聞販売所	代表取締役 泊 伝一郎
郵貯		(有)太陽工業	代表取締役 松本 末人
郵貯		(有)泊書店	
郵貯		(有)馬場水産	
2		こころ動物病院	
240		こしばラーメン	

70周年事業募金一覧(各事業所・企業名)

整理番号		事業所	氏名
207		小瀬田みんなの診療所	
185		小村木工所	
9		こもれび	
101	サ	さくら	
303		さっちゃん	
42		さっぱり屋	
130		(株)SOMES屋久島店	
149		(有)三茸堂	
56		(株)シーサイドホテル屋久島	
206		潮騒	
95		鹿鳴庵	
郵貯		(株)小池建設	
郵貯		(株)時吉組	
69		四季亭	
郵貯		(株)老舗恵命堂	
243		柴とうふ店	
郵貯		司法書士 酒井 英昭	
91		島café La モンステラ	
236		島民芸	
		書泉フローラ	
329		種子屋久農協	
328		緑文会(日本貨幣環境サービス屋久島事業所 クリーンサポートセンター)	
64		(有)白浜自動車整備工場	
182		(株)新南日興産	
250		水車	渡辺 恒夫
131		杉の舎	
146		寿し いその香り	
340		スナックK&Y	加来 千恵子
199		スナック愛	
200		スナックのどか	
204		スナックルージュ	
郵貯		セラ美容室	日高 ユカリ
3		仙の家	
郵貯		送陽邸	岩川 健
81	タ	大黒電気水道	
326		(有)たけすぎ	
234		竹之内工芸	
郵貯		(株)竹之下 屋久島支店	
36		田代別館	
186		たつみシロアリ	
11		田中司法書士	
147		田中商店	
13		塚田商店	
73		塚田精肉店	
65		(有)塚田鮮魚	
321		辻商店	
176		つばさ薬局	
107		釣り具の岩川 屋久島	
343		(有)ディエスネット	
97		寺田商店	
308		寺田電化サービス	
21		寺田屋	
31		といも	
20		ドコデン屋久島	
35		とし食堂	中島 俊男

70周年事業募金一覧(各事業所・企業名)

整理番号		事業所	氏名
34		頼研三事務所	
323		ドルフィン	
郵貯	ナ	仲 淳一郎	
57		中島畳店	中島
333		(有)中島モータース	中島 耕次郎
136		長田司法	
12		ナガノ工業	
6		中峰写真館	
227		なっちゃん食堂	
4		波の華	
202		南国砂利	相良 辰雄
郵貯		南振建設株式会社	代表取締役 岡村 勇征
62	ハ	はかりや自動車	
173		八万寿茶園	
140		ハッチ美装	
15		ハッピー	
78		八百八	
221		花屋旅館	
294		(有)羽神建設	川崎 俊海
228		浜崎理容所	
150		日高酒店	
70		美容室セブン	
18		美容室はいから	
174		ヒロベーカーリー	
235		フォトテック(有)	
60		不動産開発屋久島	
74		文昌堂	
43		平和理髪店	
27		ペンションスカイビュー	
28		凡我塔ひらみ屋	
193		本坊酒造株式会社	
311	マ	牧司法書士事務所	
238		松栄	
145		松田商店	
1		マリクラブカイオロヒア	
222		丸勝水産(株)	
138		丸高水産	
178		丸正ストアー	
41		みすみ塗装	
318		三岳酒造(株)	
郵貯		南日本銀行屋久島支店	
45		南日本新聞	
46		南日本新聞	高田橋 徹
214		南日本酪農デイリー	
47		宮之浦区	
324		(有)宮之浦石油	
175		民宿志保	
5		民宿晴耕雨読	
80		民宿野の花	
61		民宿ふれんど	
25		民宿みよしや	
30		民宿やくしま	
82		民宿湯之河	
63		民宿旅情の宿	
90		モリカフェ	

70周年事業募金一覧(各事業所・企業名)

整理番号		事業所	氏名
72	ヤ	八重岳	
郵貯		(株)屋久島ガイド協会	
郵貯		屋久島海陸運輸株式会社	
292		Y・C・C(屋久島カントリークラブ)	牧 実寛
郵貯		屋久島企画	太田 富子
133		(有)屋久島新生社印刷	
148		屋久島石油	
郵貯		屋久島ダイビングセンター	栢下
317		屋久島町会計管理者	
67		屋久島地力センター	
203		屋久島電化	
161		屋久島電工(株)	
郵貯		屋久島徳洲会病院	
325		屋久島荷役(有)	
298		屋久島物産開発	
14		屋久島野外活動センター	
164		(有)屋久島薬草販売	
7		やくすぎ荘	
261		屋久の子の家	柴 鉄生
188		安永丸	
96		山海荘	
179		(有)ヤマノ	
71		山野生花	
38		山ん神	
84		ゆたかレンタカー	
237		(株)横手商会	
郵貯	ラ	リカーショップちゅうまん	
郵貯		理具庵	
151		リバージュ	山崎 利広
66		龍鳳	
17		レストランパノラマ	
177		レンガ屋	
92		レンタカーナビ	
10		ローズテラー	
郵貯	ワ	わいわいらんど	
77		若大将	
87		和田医院	
218		渡辺歯科医院	

※この他、同窓会、出郷者、PTA他、島内外900名余りの方々から暖かいお志をいただきました。
誌面の都合上、掲載出来ませんこととお詫び申し上げます。

編集後記

創立七十周年式典、記念行事等が成功裏に終了し、ここに記念誌を刊行できますことを心より嬉しく思います。この記念誌には、今回の事業の足跡や記録が準備資料として次の八十周年へのバトンとなり、また成功を祈念する思いを込めております。

振り返りますと、「第一回七十周年に向けた打ち合わせ準備会議」を皮切りとし、「創立七十周年記念事業実行委員会」と名称を変更してから本格的に動き出しはじめ、昼夜を問わず会議を重ねながら準備に勤しんだことが記憶に新しいです。

お陰様をもちまして昨年十一月十七日には、多数のご来賓・関係者の皆様のご臨席を賜り、亡師亡友慰霊祭・記念式典・記念講演会・記念祝賀会を盛大に挙行することができました。また記念事業においては、体育館舞台のスクリーン・プロジェクターが新調・購入され、体育祭優勝旗も新調されました。これらは今後の在校生の教育活動にて活用され、更なる教育効果をあげるものと期待されます。ひとえに浄財をお寄せいただいた屋久島町をはじめ、島内外の各事業所や企業の方々、同窓会の方々、そして多くの地域の方々のご支援の賜物と感謝申し上げます。

この記念誌を刊行するにあたりましては、多くの玉稿を賜り貴重な資料を提供していただいた同窓会の方々、PTAをはじめご尽力いただいた関係各位に衷心よりお礼申し上げます。至らぬ点多々

あるかと思えます。校正は入念に行ったつもりですが、見落としがあるかもしれません。その場合は、何卒ご容赦いただければ幸いに存じます。

この記念誌が皆様のお手元に届く頃には、「平成」から新しい時代を迎えていることでしょう。屋久島高等学校が脈々と受け継がれる「縄文杉」がごとく、これまでの歴史の中で築き上げた遺産に加え、絶ゆることのない「屋久島の水」のごとく新しい時代にも飛躍的に発展を遂げることを祈念し、後記といたします。

(嶽釜将記)

創立七十周年記念事業実行委員会事業部記念誌係

同窓会 長井 三郎

PTA 船津 毅

学校 堂蘭 幸夫

嶽釜 将

創立七十周年記念誌

平成三十一年三月三十一日発行

発行所 鹿児島県立屋久島高等学校

〒八九一―四二〇五

鹿児島県熊毛郡屋久島町宮之浦二四七九―一

TEL 〇九九七(四二)〇〇一三

FAX 〇九九七(四二)〇六二〇

発行者 創立七十周年記念事業実行委員会

編集者 創立七十周年記念事業実行委員会

事業部記念誌係

印刷所 株式会社屋久島新生社印刷

鹿児島県熊毛郡屋久島町小瀬田八二六―四二

TEL 〇九九七(四三)五〇二一

